

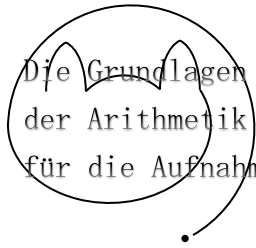
最難関問題

けた入れ替えの問題・1

1 1 2の各位の数を並びかえると、1 1 2も含めて3通りの整数、1 1 2, 1 2 1, 2 1 1ができます。また、その和は $1 1 2 + 1 2 1 + 2 1 1 = 4 4 4$ です。次の問いに答えなさい。

(1) 1 3 5 0の各位の数を並びかえてできる整数の和を求めなさい。

(2) ある4けたの整数 X の各位の数を並びかえてできる整数の和を求めたところ、(1)で求めた1 3 5 0の各位の数を並びかえてできる整数の和に等しくなりました。また、 X に現れる4つの数のうち1つを0に変えた整数 Y について、 Y の各位の数を並びかえてできる整数の和を求めたところ、3 1 1 1 0になりました。 X に現れる4つの数を答えなさい。



最難関問題

けた入れ替えの問題・1 (1) 5 1 5 5 2 (2) 0, 4, 6, 6

(1) 1, 3, 5, 0を並びかえてできる4けたの整数は, $3 \times 3 \times 2 \times 1 = 18$ (通り) あります。千の位に現れる数は1, 3, 5の3つで, それぞれ $18 \div 3 = 6$ (回) 現れます。ここで数1に注目をする
と, 全部で18回現れ, そのうち6回千の位に現れるので, 一, 十, 百の位には, $(18 - 6) \div 3 = 4$ (回) ずつ現れます。よって, 1350の各位の数を並びかえてできる整数の和は,
 $(1 + 3 + 5) \times 6444 = 51552$ です。

(2) 0を含まない4けたの整数の場合, 並びかえてできる整数の和は51552になるのでしょうか。いくつかの例を考えてみます。

$a b c d \cdots$ 並びかえて $4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24$ (通り) あるので, a, b, c, d は各位に

$24 \div 4 = 6$ (回) ずつ現れます。よって和は, $(a + b + c + d) \times 6 \times 1111$

$a a b c \cdots$ 並びかえて $4 \times 3 = 12$ (通り) あり, b, c は各位に $12 \div 4 = 3$ (回) ずつ,

a は $3 \times 2 = 6$ (回) 現れます。よって和は, $(a \times 2 + b + c) \times 3 \times 1111$

結局のところ整数 X が0を含まないのであれば, X に現れる数は, 並びかえにおいてどの位にも同じ回数現れるので, 並びかえてできる整数の和は1111の倍数になります。51552は1111で割り切れないので, 整数 X は0を含みます。

0を1つ含む4けたの整数の場合, 次のような場合を考えることができます。

$a b c 0 \cdots$ (1) より, $(a + b + c) \times 6444 = (a + b + c) \times 2 \times 3222$

$a a b 0 \cdots$ $a, a, b, 0$ を並びかえてできる4けたの整数は, $18 \div 2 = 9$ (通り) あります。千の位には0が現れないので, a が6回, b が3回現れます。また, 一, 十, 百の位には0が, $9 \div 3 = 3$ (回) ずつ現れるので, a と b はあわせて $9 - 3 = 6$ (回), よって a が4回ずつ, b が2回ずつ現れます。よって, $a a b 0$ の各位の数を並びかえてできる整数の和は, $(a \times 2 + b) \times 3222$ です。

$a a a 0 \cdots$ $a, a, a, 0$ を並びかえてできる4けたの整数は, $a a a 0, a a 0 a, a 0 a a$ の3通りで, その和は $a \times 3222$ です。

このように, 和はいずれも3222の倍数となります。

最難関問題

0を2つ含む4けたの整数の場合、次のような場合を考えることができます。

$a b 0 0 \cdots a, b, 0, 0$ を並びかえてできる4けたの整数は、 $2 \times 3 = 6$ (通り) あります。千の位には0が現れないので、 a が3回、 b が3回現れます。また、一、十、百の位には0が、 $12 \div 3 = 4$ (回) ずつ現れるので、 a と b はあわせて $6 - 4 = 2$ (回)、よって a, b ともに1回ずつ現れます。よって、 $a b 0 0$ の各位の数を並びかえてできる整数の和は、 $(a + b) \times 3111$ です。

$a a 0 0 \cdots a, a, 0, 0$ を並びかえてできる4けたの整数は、 $a a 0 0, a 0 a 0, a 0 0 a$ の3通りで、その和は $a \times 3111$ です。

このように、和はいずれも3111の倍数となります。

(1) より $51552 = 16 \times 3222$ です。また、 $31110 = 10 \times 3111$ なので、整数 Y は $a b 0 0$ で $a + b = 10$ です。このとき、整数 X は $a b c 0$ か $a a b 0$ です。

$a b c 0 \cdots$ 並びかえてできる整数の和は $(a + b + c) \times 2 \times 3222$ なので、

$(a + b + c) \times 2 = 16$ より $a + b + c = 8$ となって、条件を満たしません。

$a a b 0 \cdots$ 並びかえてできる整数の和は $(a \times 2 + b) \times 3222$ なので、

$a \times 2 + b = 16$ より $a = 6, b = 4$ となります。

以上より、整数 X は6640のように、6が2個、4と0が1個現れる数、整数 Y は、6400のように6と4が1個、0が2個現れる数です。